



2025年1月26日
1月第四主日礼拝式
<日本同盟基督教団 国内宣教デー>

3 「ほめよ 全地よ」

ほめよ 全地よ

大いなるイエスを

王の王 主の主 わがきみ

とわにときわに 主をたたえ

主とともに 統(す)べおさめる

2 み前につどい

1. み前に集い 主のみ名をあがめよう
み前に集い 主のみ名をあがめよう
救い主キリストのみ栄えをほめようとしえに
2. 心をあわせ 主のみ名をあがめよう
心をあわせ 主のみ名をあがめよう
救い主キリストのみ栄えをほめようとしえに
3. きよき手をあげ 主のみ名をあがめよう
きよき手をあげ 主のみ名をあがめよう
救い主キリストのみ栄えをほめようとしえに

新聖歌 1番 「いざ 皆きたりて」

1 いざ 皆(みな)きたりて 喜ばしく

声をひとつにし ほめたたえよ

* こひつじイエスに 御栄(みさか)えあれや

ハレルヤ！ ハレルヤ！ ハレルヤ！ アーメン！

2 われらに代わりて 死にたまいし

神のこひつじに 栄えあれや (*くりかえし)

3 イエスこそ すべてのちからと知恵

富(とみ)とみちびきを 受くべきなれ(*くりかえし)

4 神に造られしもの すべては

声をひとつにし ほめたたえぬ (*くりかえし)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌376番 「如何(いか)に汚れたる」

- 1 如何(いか)に汚れたる 者の心をも
きよめ給(たも)う主は げにほむべきかな
* 罪 汚(けが)れは いや増(ま)すとも
主の恵みもまた いや増(ま)すなり
- 2 きみに逆(さか)らいし 時こそ多けれ
従いまつりし 日はそもいくばく (*)
- 3 汚れのみ多く いさおはなけれど
君(きみ)は血潮(ちしお)もて 洗わせ給えり (*)
- 4 かくも満ち足(た)れる 恵みの数々(かずかず)
ちからかぎりなお たたえ歌わばや (*) アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン